文部科学省

科学技術と国家安全保障との有機的連携について

令和８年 10月

文部科学省

第７期科学技術・イノベーション基本計画（令和８年3月27日閣議決定）

第４章 科学技術と国家安全保障との有機的連携【抜粋】

- 最先端の科学技術は加速度的に進展し、民生用の技術と安全保障用の技術の区別は実際には極めて困難となっている。くわえて、民生用にも安全保障用にも利用される可能性があるデュアルユース技術への投資は、それぞれの分野においてのみならず、技術力を相互に高め合いながら、科学技術の発展、ひいては、産業競争力を強化し、長期的な経済成長にも資するものである。
- 既存の防衛産業に限定しない、幅広い企業群やスタートアップ企業の参画を促すとともに、**大学や国研なども参画する、安全保障分野におけるエコシステムを構築していくべき**である。その際、経済安全保障の観点を重視して技術力を強化する中で得られる成果を国家安全保障に積極的に活用することも重要である。

１．国家安全保障に資する研究開発の推進

（１）デュアルユース技術の戦略的研究開発

- 先端的なデュアルユース技術の研究開発では、その特性を十分に把握し、**技術流出の防止や慎重な管理を理解した研究者やイノベーションを支える人材の育成も急務であり、関係府省、大学、国研及び産業界が連携して取り組む**。
- デュアルユース技術によるイノベーションを加速するためには、**大学・研究機関、スタートアップ、企業など、異なる分野間の協働が鍵**であり、国家安全保障に資するデュアルユース技術の研究開発の促進、研究開発体制及び人材育成の強化を図るため、米国など諸外国の事例も参考にしつつ、例えば、**オフキャンパス構想も念頭に、大学や国研等における新たな研究拠点形成や基礎研究支援の強化などの施策を検討**する。

（２）関係府省の連携体制の構築

- 科学技術・イノベーション政策と国家安全保障政策との連携を強化するべく、ＣＳＴＩと関係機関（内閣官房国家安全保障局、外務省、防衛省等）との連携を強化する。
- **防衛省の実施する基礎研究等について、研究者が躊躇なく参画できるように、関係府省庁が協力して関係組織との対話を進め、周知・理解増進に取り組む**。

２．経済安全保障の観点を重視した技術力の強化

３．研究セキュリティの強化等

文部科学省所管国立研究開発法人と防衛省との連携事例

- 文部科学省所管の国立研究開発法人（国研）は、これまで**航空宇宙、海洋等の分野において、防衛省との間で協定等を締結**し、連携・協力を進めている（下記参照）。
- 加えて、防衛省の**「安全保障技術研究推進制度」への応募・採択実績**を有するほか、同制度の研究成果が橋渡し研究の枠組みに発展した事例も見られる。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）

【防衛装備庁】

- **航空宇宙分野における研究協力に関する協定**
  （2013年12月～）

【防衛省本省】

- **宇宙状況把握分野における協力に関する協定**
  （2023年3月～）
  - JAXAは宇宙状況把握（SSA）システムを整備し、2022年度に**防衛省航空自衛隊宇宙作戦群との共同試行運用を実施**。2023年度から実運用に移行。
  - **JAXAが運用するレーダー、光学望遠鏡及び解析システムを活用**し、防衛省との連携の下、宇宙状況把握（SSA）体制の構築・運用に貢献。



防衛省・自衛隊｜令和8年度防衛白書｜宇宙領域把握（SDA）体制構築に向けた取組

海洋研究開発機構（JAMSTEC）

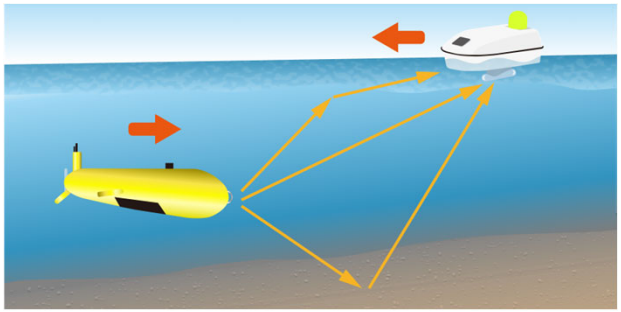
【防衛装備庁】

- **海洋分野における研究協力に関する協定**
  （2014年3月～）

＜協力の例＞

水中探査機の音響通信に関する共同研究

マルチパス環境において高速移動するAUV-ASV間の音響通信

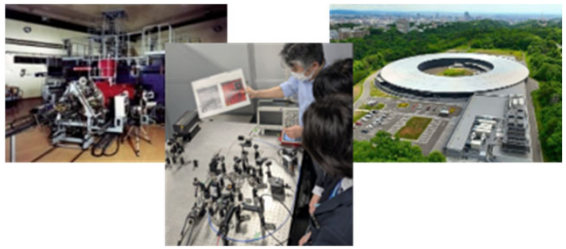


- JAMSTECは、深海探査機と母船との通信環境改善のため、**市販品の10倍以上のデータ通信速度を有する音響通信装置を開発**。
- 防衛装備庁艦艇装備研究所との共同研究にて、移動の影響や反射・屈折の影響を受ける水中の厳しい環境下においても、当該装置を用いた通信を実証。

文部科学省所管国立研究開発法人の強みと更なる取組

- 文部科学省所管の国立研究開発法人は、それぞれの研究分野の**基盤となる研究施設・設備、人材、研究インフラを保有**しており、**産学官の研究開発に幅広く活用**されている。これまでも、企業等との共同研究、人材育成、技術移転・社会実装等を通じ、我が国の研究開発基盤を支えてきた。
- 加えて、経済安全保障上重要な技術分野を中心に、**研究セキュリティを確保した研究環境の構築**に取り組んでいる研究機関も多く、**今後、科学技術と国家安全保障との連携に向けたポテンシャルを有する**。

量子科学技術研究開発機構



最先端の量子科学技術施設群を擁し、
量子、フュージョン、医療等の分野に貢献

理化学研究所



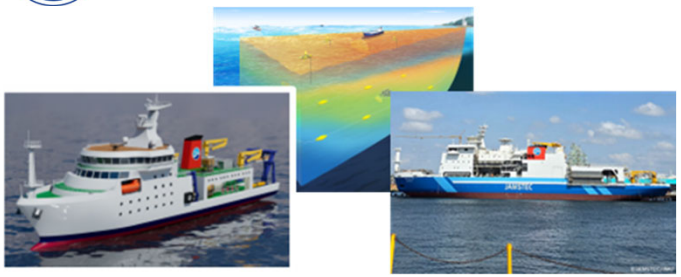
広範な分野の基礎科学研究、課題解決型の研究開発、
世界トップレベルの研究基盤の整備・共用を実施

物質・材料研究機構



あらゆる分野の基盤である物質・材料分野の創製～
評価までを支える設備・人材の研究基盤

海洋研究開発機構



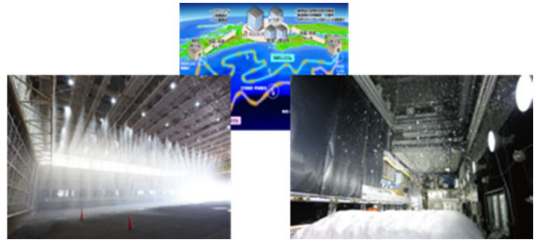
研究船を活用した海洋の基礎研究、
海洋調査・深海探査の要素技術開発を実施

宇宙航空研究開発機構



中核機関としての大型試験設備群・専門人材
幅広い分野への貢献・基盤研究

防災科学技術研究所



我が国の防災科学技術研究において
唯一無二の研究基盤の利活用